



雨あがりの朝の空、五岳の輝きに息をのむ。

火の国 阿蘇の
恵みのブランド

然
zen
A s o C i t y

阿蘇山ロープウェイは、昭和三十三年に
世界ではじめて活火山に架けられたロープウェイだ。

登山バスの終点・阿蘇山西駅から火口縁の火口西駅まで

高低差二〇八メートルをおよそ四分揺られていく空中遊覧である。

いまなお噴煙をあげる中岳火口の東側に向かって登り、

眼下には阿蘇ならではの大自然。

技術員スタッフのひとり家人崇義さんは、

人びとのそうした痛快なひとときの安全を見守ります。

雲海も見事だけれど……、と若き技術員は言う。

雨がひとしきり降ったあとの翌朝の阿蘇五岳は、すばらしい。

「透明感の奥行きの中に、

威風堂々とした山の姿が浮き上がります」

はれぼれして、つくづく自分の仕事を祝福したくなるのだ。

阿蘇山ロープウェイ技術員 家人崇義

あるがまま、という貴さ。

人と自然が共作する阿蘇。